

統計ニュース

〈報道各紙掲載記事より抜粋〉

《国内・国際》

2/1 鉱工業生産 15.9%増

経済産業省が31日発表した2010年の鉱工業生産指数速報（2005年＝100）は94.0で、前年比15.9%上昇し、3年ぶりのプラスとなった。

年前半を中心にエコカー補助金や省エネ家電のエコポイント制度といった経済対策が後押しし、自動車などの輸送機械工業や電子部品・デバイス工業などの生産が上向いたことが寄与した。

ただ、リーマンショックの影響で、前年に生産が記録的な落ち込みとなった反動が大きく、指数で100を超えていたリーマンショック直前の生産水準までは回復していない。

2/1 住宅着工 2年ぶり増

国土交通省が31日発表した2010年の新設住宅着工数は、住宅ローンの金利優遇策や住宅エコポイント制度が追い風となり、前年比3.1%増の81万3126戸と、2年ぶりに前年実績を上回った。

ただ、ピークの1973年と比べると、4割強の水準にとどまり、平成元年の89年以降では2009年（78万8410戸）に次いで過去2番目に低かった。

国交省は「足元では持ち直しの動きがみられるが、厳しい経済、雇用情勢を背景に低水準が続いている」としている。だが、住宅業界では、政府が住宅エコポイントの適用期限を11年末まで1年延長したことから、11年も前年を上回るとの観測も出ている。

2/2 給与、昨年4年ぶり増

厚生労働省が1日発表した毎月勤労統計調査（速報）によると、2010年の労働者1人当たりの現金給与総額は月平均31万7092円と前年比0.5%増え、4年ぶりに前年を上回った。基本給などは低迷が続く一方、残業代などは大幅に伸び、3年ぶりに前年比プラスとなった。総労働時間も4年ぶりに増加した。景気の持ち直しにより、働く人の所得環境も最悪期を脱しつつある。

2/3 世界平均気温統計史上2位

気象庁は2日、世界と日本の2010年の平均気温確定値を発表した。世界の年平均気温は平年より0.34度高く、1891年の統計開始以降2位、日本は0.86度上回り1898年以降で4位の高温が確定した。

世界の陸地に限った平均気温は、速報値では平年を0.68度上回り統計史上最高となる見込みだったが、確定値は3位（平年差プラス0.62度）だった。

2/22 長期失業 最多の121万人

総務省が21日発表した2010年平均の労働力調査の詳細集計によると、完全失業者のうち、失業期間が1年以上の長期失業者は前年より26万人増の121万人と、比較可能な02年以降で最多となった。08年秋のリーマンショックで職を失った派遣労働者らの多くが1年以上たっても再就職先を見つけられず、長期失業者の増加につながった。

《県内》

2/5 飲酒運転 検挙622件、4年ぶり増

2010年の山口県内の飲酒運転の検挙件数が前年より31件多い622件となり、4年ぶりに増加に転じたことが県警のまとめでわかった。県警は「取り締まりを強化した結果だが、規範意識の希薄化も背景にあるのでは」と警鐘を鳴らしている。

2/9 県輸出額 3年ぶり増

2008年秋のリーマンショックを機に停滞していた県内の貿易が、回復の足取りを強めている。門司税関のまとめによると、10年の県の輸出額は前年比30.4%増の1兆8497億円。3年ぶりに増加に転じ、比較できる1979年以降で3番目に高い水準に戻った。下関港が過去最高額を更新するなど全体を押し上げた。輸入も19.8%増の1兆3136億円となり、2年ぶりに前年を上回った。